特許協力条約

今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。

電話番号 03-3581-1101 内線

3452

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人

の**書類記号 YG2003-31PCT**

REC'D 27	MAY	2004
WIPO		PCT

国際出願番号 PCT/JP03/13561	国際出願日	23. 10. 2003	優先日 (日.月.年) 25	10.2002
国際特許分類 (IPC) Int. Cl ⁷ 19/10, A	A 6 1 K 3 1/0 2 3 L 1/3 0	045, 35/78, 4	5/00, A61P1	9/08,
出願人 (氏名又は名称)				
7.000	独立行政法	人科学技術振興機構		
1. この報告書は、PCT35条に基づき 法施行規則第57条 (PCT36条) の	この国際予備審 対定に従い送付	査機関で作成された国 する。	祭予備審査報告である。	
2. この国際予備審査報告は、この表紙を	含めて全部で	4 ~~	ージからなる。	,
3. この報告には次の附属物件も添付され a	.ている。 ページで;	ある。		
補正されて、この報告の基礎 囲及び/又は図面の用紙(P	とされた及び/	又はこの国際予備密本:	幾関が認めた訂正を含む 参照)	ያ明細鸖、請求の範
第 I 欄 4. 及び補充欄に示し 国際予備審査機関が認定した	たように、出願 差替え用紙	寺における国際出願の問	開示の範囲を超えた補 頭	Eを含むものとこの
. —				
b 電子媒体は全部で 配列表に関する補充欄に示すよ ブルを含む。 (実施細則第80	うに、コンピュー 2号参照)	- 夕読み取り可能な形式	(電子媒体の なによる配列表又は配列	種類、数を示す)。 表に関連するテー
4. この国際予備審査報告は、次の内容を				<u> </u>
✓ 第 I 柳 国際予備審査報告✓ 第 II 柳 優先権	で基礎			
第四個 新規性、進歩性又	は産業上の利用	可能性についての国際	予備容本和出のマルボ	
しょ おび伽 光明の単一性の久	2720			
▼ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び開発している。				
区 第VI欄 ある種の引用文献				
□ 第VII	atr. m			
口 お温温 国际田頃に対する	思見			
国際予備審査の請求費を受理した日				
30.01.2004		国際予備審査報告を	作成した日 10.05.2004	L [
名称及びあて先		脸趾宁本木宁 / 华四	のもで映画	Talleri
日本国特許庁 (IPEA/JP)		特許庁審査官(権限	(ツのの職員)	4C 9450
郵便番号100-8915		伊藤	幸司	·
東京都千代田区段が関三丁目4番3	3 号	1	\$1.75 4	

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP03/13561

第1欄 報告の基礎		·
1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除く	ほか、国際出願の言語を其	一一
□ この報告は、	文を基礎とした。 である。 3査	
 2. この報告は下記の出願寒類を基礎とした (法会	56 & (DOD 1 + #1) - 1-	定に基づく命令に応答するために提出され
た差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、 × 出願時の国際出願書類	この報告に添付していない	。)
── 明細書 ページ、	山岡時子根川できょう。	,
第 ページ*、 第 ページ*、	出願時に提出されたもの	_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの _ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
□ 請求の範囲 第項、 第項*、	出願時に提出されたもの	·
第	PCT19条の規定に基- 	つぎ補止されたもの _ 付けで国際予備審査機関が受理したもの _ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
図面 第ページ/図、 第ページ/図*、 第	出願時に提出されたもの	_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
配列表又は関連するテーブル		付けで国際予備審査機関が受理したもの
配列表に関する補充欄を参照すること。		
3 補正により、下記の售類が削除された。		
□ 請求の範囲 第 □ 図面 第 □ 配列表(具体的に記載すること)	ページ 項 ページ/図	
配列表に関連するテーブル(具体的に配域		
4.	Fに添付されかつ以下に示し らされなかったものとして作	た補正が出願時における開示の範囲を越 成した。 (PCT規則70.2(c))
□ 明細書 第 □ 請求の範囲 第 □ 図面 第 □ 配列表(具体的に記載すること) □ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載	ページ 項 ページ/図	
* 4.に該当する場合、その用紙に "superseded" と甑	B入されることがある。	

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP03/13561

男 V 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能付 それを裏付ける文献及び説明	性についての法第12条 	(PCT35条(2)) に定める見解、	
1. 見解			
新規性 (N)	請求の範囲 請求の範囲	$\begin{array}{r} 1-7, \ 15-18 \\ \hline 8-14 \end{array}$	有 無
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲 	1-7, 15-18 $8-14$	有 無
・ 産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-18	有 無
2. 文献及び説明(PCT規則70.7)			
文献1: JP 2000-2363 2000.01.25 文献2: JP 2000-1361 2000.05.16 文献3: JP 7-215849 A 文献4: JP 10-36256 A 文献5: US 5935996 A 文献6: JP 10-218767 文献7: JP 10-279492 文献8: JP 2000-19152	8 1 A (生物系特 A (エーザイ株式会 A (山口 正義) 19 (Taishi Foods Co A (株式会社ニッ A (静岡県) 1998	学定産業技術研究推進機構) 会社) 1995. 08. 15 998. 02. 10 Ompany Ltd.) 1999. 08. 10 マショー) 1998. 08. 18 3. 10. 20	
<請求の範囲8-14> 高請求の範囲8-14に係る発明8-14に係る発明8-14に係る発明を存在である。 び進歩性をは、「骨にはのりのでは、「骨にはのがでは、「骨にはのがでは、「骨にはのがでは、「骨には、「一角のでは、「一角のでは、「一角のでは、「一角では、一角では、「一角では、一角では、「一角では、一角では、一角では、一角では、一角では、一角では、一角では、一角では、	ノチンを含有する食 寮用」なる特定では 5発明とを区別する	食品が記載されており、同 は、食品・飼料として文献 5ことはできない	請求の 1 に記

人の主張には承服しかねる。

有無に拘わらず、同成分からなる食品がすでに公知である場合食品発明としては区別することができないとして新規性が否定されるのが通常である。よって、かかる出願

く請求の範囲1-7、15-18> 請求の範囲1-7及び15-18に係る発明は、国際調査報告で引用された何れの文献にも開示されておらず、新規性及び進歩性を有する。 特に、 $\beta-$ クリプトキサンチンを有効成分とする骨形成促進剤及び $\beta-$ クリプトキサンチンをリード化合物とする骨形成促進又は骨疾患に対する予防・治療のための有効は公本フクリーニングナストンドント 効成分をスクリーニングする方法については、最も関連のある先行技術文献であると 認められる文献1-9の何れにも開示されていない。

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP03/13561

THE COLUMN		国際出題番号 PC	CT/JP03/13561
第VI欄 ある種の引用文献			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1. ある種の公表された文書(PCT	規則70.10)		
出願番号 特許番号	公知日 (日. 月. 年)	出顧日 (日.月.年)	優先日(有効な優先権の主張) (日.月.年)
JP 2002-338485 A (飯塚 英子) [E, X]	27. 11. 2002	22. 05. 2001	
			•

2. 警面による開示以外の開示	(PCT規則70.9)
-----------------	-------------

審面による開示以外の開示の種類	書面による開示以外の開示の日付	書面による開示以外の開示に言及している
	(日.月.年)	書面の日付(日.月.年)
	1	